

「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成
～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～

泉佐野市立第三小学校



子どもたちの読書習慣について



11月に入り、2学期も折り返しとなりました。これまで、運動会や修学旅行などの大きな学校行事を通して、子どもたちは着実に成長してくれています。

さて、今月末の泉佐野市教育委員会のホームページに、今年度の全国学力・学習状況調査の各校の結果と分析が掲載されます。本校の子どもたちの国語・算数の正答率や児童質問紙での回答状況は『おおむね満足』なものが多く、これまで学校と保護者の皆様、地域の皆様が手を取り合っ

て子どもたちの教育に取り組んできた成果が表れているのではないかと考えています。課題となる点も見えてきました。中でも子どもたちの読書習慣について、保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思

います。読書に関する質問に対する、本校の子どもたちの肯定的回答の状況です。

- | | | |
|--|------------|------------|
| ・学校の授業時間以外に、普段30分以上読書をしている。(電子書籍含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) | 本校 (35.3%) | 全国 (37.3%) |
| ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館に月1~3回以上行く。 | 本校 (18.0%) | 全国 (33.0%) |
| ・家には本が100冊以上ある。(雑誌、新聞、教科書は除く) | 本校 (28.6%) | 全国 (33.2%) |
| ・新聞を週に1~3回以上読んでいる。 | 本校 (10.7%) | 全国 (12.6%) |
| ・読書は好き。 | 本校 (78.5%) | 全国 (71.8%) |

本を読むことの良さは色々あると思います。今まで知らなかったことを知ることができ、多くの知識を得ることができます。ファンタジーの物語では、実際には体験できない世界のことが体験できます。偉人の伝記などからは、その人の生き方を知り、今後の自分の生き方に役立てることができ

ます。また、言葉の力が養われることで「思考力・判断力・表現力」といった子どもたちにとって大切な学力を伸ばすこともできます。過去の新聞記事では、『本・新聞を読む児童・生徒 高学力!』との掲載もありました。また、できるだけ多くのジャンルの本を、幅広く読む子ども